

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年4月15日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691700118
法人名	社会福祉法人 欣生会
事業所名	グループホーム 杜のかおり
所在地	鹿児島県志布志市有明町蓬原554番地6 (電話) 099-475-2224
自己評価作成日	令和3年3月4日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年3月25日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・平成29年8月1日より開設。4年目のグループホームになります。当法人は「誠心」の理念の基に支援を行う事となっており、その中には市域の方への「おかげさまの心」を持ち関わっていく事となります。地域の特徴としても畑がある田舎の風景が広がり、入居されている方も自宅で生活していた状況に近い環境で生活ができていると思います。特別力を入れている事というわけではありませんが、「まずは受け入れる」姿勢を持ち支援に繋がっていると思っています。認知症の方への支援の中で、気持ちを受け入れる姿勢をもって関わりを持って行く事は大切な事でもあり、人の生活に携わっていく事を考えると重要な事と思われまます。今後も、その気持ちを忘れず支援に携わることが出来ればと思います。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当事業所は運営母体は特別養護老人ホームを中心にした社会福祉法人で、毎月の部署会議等を通して法人内を一体的に運営し、法人内研修の実施や職員の派遣等の協力体制が築かれている。資格取得や研修受講を支援し職員の資質向上に取り組んでいる。

・新型コロナウイルス感染症予防のため、運営推進会議は書面開催となっているが、会議資料と返信用封筒を委員に送付し、意見を返送してもらうよう工夫している。委員に行政や自治会長・家族代表の他、警察官や協力医が含まれ多彩な立場からの情報及び意見が寄せられ、事業所運営に活かしている。

・コロナの影響で面会や外出が制限されている生活の中で、状況を見ながら面会を工夫し家族との繋がりを支援したり、個別支援での外出や鳥居を作って事業所内で初詣等、様々に利用者が楽しめるイベントを工夫している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	・「誠心（おかげさまの心）」と理念があります。法人の理念と同じ事になりますが、同様の事を理念として掲げることが支援の幅、支援の質に関わるものとしての考え、支援に繋いでいる。	法人全体の理念を事業所内に掲示し重要事項説明書等にも掲載している。事業所では理念を踏まえた独自の目標を作成し、会議等で理念と目標を関連づけた話し合いを行い、実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・地域集落の清掃作業への参加を勤務上状況に応じて参加をする様にしている。事前に案内を貰い参加するようにしている。現在、新型コロナウイルス感染のリスクがあり、運営推進会議は部署会議の資料を送り、意見書を返信して頂いている形を取っています。	自治会に加入しているが、コロナ感染防止の為、清掃活動のみ参加している。ボランティア受け入れや避難訓練の住民参加は自粛している。天気のいい日に近所を散歩しながら地域の人と挨拶をする程度の交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	・地域行事の参加をする事も地域交流、貢献の一つとして考えていますが、新型コロナウイルス感染の予防の考えから現在交流は控えている。運営推進会議等で身近に認知症の方が居る場合等、必要な時は相談をして頂く様に伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・運営に関わる入居状況、要介護度、事故報告、行事、人員関係含め報告する事や協力医、駐在所、行政より意見を求め、感染症状況、時事情報等を交換している。</p>	<p>2ヶ月毎の運営推進会議は書面開催で、各委員に資料等を送付し事業所の状況等を報告している。返送された委員の意見からコロナ対策の情報や資料に対する助言を得て、運営に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議の報告書を送付し意見書の返信して貰い、意見をj得ている。また、質問事項等は確認し意見をj得る様にしている。</p>	<p>行政担当者とは、相談・報告に出向く等、日頃から連携を密に取っている。行政の研修会にはズーム研修を含め参加し、情報収集に努めている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>・日頃の言動も含め注意し支援をしている。職員の言葉一つで行動を制限させてしまう事も含め、会議で話しをする事もあります。また、法人内の研修にて学ぶ機会もある。</p>	<p>指針が有り、委員会を2ヶ月毎に、研修会は法人での開催を含め7～8回実施し、職員の意識付けを図っている。スピーチロックは個別や研修会で注意を促している。玄関の施錠はせず、外に出て行く利用者には職員が一緒に散歩する等、行動を制限しないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている</p>	<p>・暴言、暴力、ネグレクトと虐待の種類はあります。法人内の研修等を通して学ぶ機会を持つ様にしている。職員自身のメンタル管理も含め対応していく事も虐待防止にも繋がってくると思われます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>・法人研修等を通して学ぶ機会を持っている。また、会議等を通して日々を振り返る必要がある事も伝えている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>・入居時に契約書、重要事項説明書等を説明し理解を得ている。また、要介護認定が変更された時、公的保険が外れた時にも、料金説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>・意見箱の設置</p> <p>・家族からの意見に対しては親身に対応をしている。運営推進会議等で家族等からの要望については報告をする事もある。</p>	<p>利用者には、日頃の会話の中から意見等を聞いている。家族からは、電話・面会時に要望等を聞いており、意見箱も設置している。要望で、同じ服に偏らないよう気をつけている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>・人事考課制度にて、アンケート、考課公表時に意見を求める様になっている。また、普段の業務の中でも意見を受ける様になっている。</p>	<p>管理者は意見が言いやすい雰囲気作りに心がけている。日々の業務において、ケアに関する意見が多く、検討し反映している。意見等を法人の部署会議に諮ることもあり、個別相談は管理者が受けて対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>・就業規則、給与規定あり ・職員が長く定着する事も含め、シフト調整等を行っている。休憩時間を設ける事も労働に対する負担の軽減に繋がっている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・法人内の研修、介護職員の処遇改善加算における勉強会等を設けたり、外部の認知症実践者研修を受けたりと学ぶ機会を設けている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・法人内の職員と研修会を通して交流を図る事は出来ている。 ・同業者との交流の機会が持てる様に調整をしている事もある。 ・大隅介護事業所連絡協議会加入</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所相談時からの関係の構築が必要であり、入所前の訪問から情報を受け状態を浮かび合わせながら支援の想定をするようにしています。また、入所後も状態を観察し小さな気付きを持つ事、相談を受けながら支援に繋げ信頼を築けるようにしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所相談時からの関係の構築が必要誠を理解し、また、入所後も同様に日々の相談を受ける事、互いが協力して支援に繋げていく事を伝えながら支援をしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>初期に必要なとされる支援についても訪問による情報、家族からの情報から想定し、支援に努めている。他のサービスとの連携は検討中である。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>共同生活を送る事の大切さを理解し、安心して一緒に生活が送れるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族との繋がりが大切なので、家族と連携を取りながら本人を支えていけるよう努めています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家族や本人から聞き取り、思い出の場所や自宅へ行く時間が持てるよう支援しています。</p>	<p>家族との面会や電話での交流を支援し、事業所からも広報誌の送付や近況報告等に取り組み、家族との関係が途切れないように努めている。自宅等や馴染みの場に職員が同行し、外出しても車から下りないように配慮している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>職員が入居者間での会話が弾むような話題を提供したりレクリエーションや行事等で良い関係が保てるようにしている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービス終了後も尋ねて頂いたり、相談を受けるなどの体制作りに努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向については生活の中で聞かれる言葉や、日頃の観察に繋がっています。	ホールでくつろいでいる時や一緒に食事の準備をしている時の会話等で、本人のしたいことや心配事などを把握するように努めている。帰宅願望があり電話で家族と話したり面会に来て直接会話をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らしについては、主に入居時に確認しています。又、面会等で必要に応じ、本人やご家族様へ尋ね、把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の有する力、事故リスク等も考慮しつつ、現状の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画は本人ご家族様、関係者からの意見を収集し、作成している。	本人や家族の希望と主治医の意見を基に、職員で話し合い介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に実施し、6ヶ月毎に計画を見直している。状況変化時にも見直し、現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は支援経過記録や個人チェック等に記入している。記録の確認を行いつつ、意見交換に努め援助に繋いでいくよう努力している。又、それらを介護計画に反映させている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	法人内に特養を持っている。この特養との交流等、柔軟なサービスの活用については、コロナウイルス感染が収束へ向かい、落ち着いてきたら今後の課題になっていくと考えます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	グループホーム周辺の地域資源は把握していると思っておりますが、活動や共同していく事については、地域を含めた課題になると考えています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時入居申し込み時に主治医の説明をし、了解を得ています。日頃の診察についても連携を図りながら支援に繋げています。24時間の連携体制も図れています。又、昨年より薬剤師と入居者さまとの契約で居室療養管理指導を実施しています。薬のセットばかりでなく、	契約時にかかりつけ医の受診を支援している。月1回及び必要時の往診と週1回の訪問看護、月1回の薬剤師の療養管理指導を実施している。24時間の医療連携体制が築かれており、他科受診は職員で対応するなど、適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	毎週訪問看護へ入居者様の状態報告を行い、情報の共有を行っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時には怪我や病気の状況、食事量やバイタル、睡眠や体重本人様の環境の変化時の状態等、こちらでの情報も含め交換できている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	主治医に定期的に往診に来て頂き、点滴等の治療を行っている。又、日々の状態を家族にも伝え、不安な思い等にも寄り添えるよう話し合いに努めている。	契約時に重度化等の場合の対応について指針で説明し、同意書をもっている。状況の変化に応じて段階的に、特別養護老人ホームや入院等の選択肢について説明している。重度化等の場合は家族の意向に沿って支援に取り組んでおり、看取り介護の可能な体制ができている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	事故等が合った際、訪問看護や主治医に処置方法を尋ね、記録に残している。それにより、職員一人ひとりが対応できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の避難訓練を行い、地域の方にも参加して頂いている。台風災害にも、事前に食料の確保や、窓ガラスの補強にも努め、安心と安全な環境作りを行っている。</p>	<p>年2回昼夜想定で避難訓練を実施している。今年度はコロナの影響で消防署の立ち会いは無く、近隣住民への声掛けは自粛している。地域の協力体制は築いている。協力医には、緊急通報装置への登録協力を得ている。非常用の備蓄は水・米・レトルト食品・缶詰等を確保している。避難するとき、居室からウッドデッキに直接出ることができる。地域の防災無線で災害時は放送が流れる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人の人格や尊厳を守っていく事は必要であり、意識して支援に繋がっていると思います。個人の特徴を生かした支援ができるようにしている。又、接遇についても、注意する部分もありますが、その都度改善ができるように努めている。	法人で研修を実施している。さん付けで呼びかけ、訪室時には声掛けしている。入浴や排泄介助時は羞恥心に配慮し、トイレの声かけも周りに気づかれないようにして誘導している。申し送り時はプライバシーの確保をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	「意思の表現」「自己決定」は大切と意識しており、尊厳を守る事にもなります。意思の実現には職員の引き出しも大切であり、今までの生活も含め意思を汲み取り、繋げていく事にあります。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活を大切にしながら、過ごせるように努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	服装によってその日の気分に変化がある事もあります。身だしなみを整えながら、過ごして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	旬の食材を取り入れ、季節を味わって頂いている。又、準備や片付け一緒に行い、楽しみを共有している。	旬の食材を使い、個々に合った食事形態で提供している。利用者も一緒に、下ごしらえや食器洗いをしたり、あくまき作りも職員と一緒にしている。誕生日のケーキや季節の行事食・仕出し弁当等で楽しんでもらえるよう工夫している。	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	食事量や水分量を毎日記録に残し、食事や食事や水分低下が見られたり、体調等を考慮して食事を提供している。		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	自分で出来る方は自分で行ってもらい、出来ない方には介助を行い口腔ケアをしている。口腔内に異常があれば歯科医師に報告し、指示のもと口腔ケアをしている。		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	排泄チェック表から個々の排泄パターンを知り、その方にあった時間で声掛けをしている。個人のプライバシーを考慮しながら、日々の体調の変化にも合わせ、排泄の支援をしている。	日中はトイレでの排泄を支援しており、把握した個々の排泄パターンの時間や仕草等で声掛け・誘導をしている。個々に応じた布パンツやリハビリパンツ・パット等の排泄用品を使用している。夜間は、事故防止の為、ポータブルトイレやパットを使用する利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事量・水分量を見ながら内服薬で調整を行い、体操をするなど便秘予防をしながら支援している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	曜日の設定はしているが、その日の体調や本人の意思を尊重しながら支援している。入浴中は笑顔で楽しく入浴ができるようにしている。	週2回午前中を基本に入浴支援しているが、希望や体調で柔軟に対応し、必要に応じて2人介助や同性介助を実施している。皮膚疾患での足浴や汚染時の陰洗・シャワー浴を実施し、拒む場合も声掛け等を工夫しているが、無理強いはしていない。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣と日々の体調の変化に合わせて、休息やより良い睡眠ができるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬支援の中で、体調や行動の変化があれば、医師、薬剤師、訪問看護に報告、相談をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごすように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日の生活の中で、家事、その他の活動にて役割を作り、張り合いや喜び、生きがいに繋がるようにしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	外出支援を行う体制や予定などは考えてあります。そこには、入居している方の思いを含めて実施できるようにしている。今後も、家族や地域の人々と一緒に過ごす機会も課題となります。	天候の良い日に散歩やウッドデッキでの外気浴・庭でのお茶会等、できるだけ外で過ごす工夫をしている。個別支援でのコスモス見物やドライブ、受診後に車内から花を眺めたり景色を見たりして楽しめるように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	少数の金額になりますが、入居時に本人様、家族の希望に応じて、所持できるようにしている。ホームで預り管理している部分もあり、そこから買い物もできるようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族との繋がりを大切にと考えていますので、電話がしたい時に行う事もあります。家族が面会に来られた時に、家族への思いも代弁して伝えることもあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	限られた空間ではありますが、一緒に過ごせるための配慮、過ごす場所を選んで頂ける配慮をしている。清潔感が保たれるようにして、不快感がないように努めている。	ホールは日当たりが良く、窓も多く明るい。テラスからスロープで広い庭に出られ、開放的な造りである。加湿機能付きの空気清浄機やエアコンを使って適度な温湿度に調節している。季節毎に作品を壁に飾り、調理場も見えて家庭的な雰囲気、気持ち良く過ごせるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自室で過ごしたい方には過ごして頂いています。一緒に居たい思いもあり、入居者同士で過ごしている。また、状況に応じて環境面の工夫もしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自室より本人様が使用されていた親しみのあるものを持ってきて頂くようにしている。布団等も持ってきて頂くようにしている。	居室には、ベッドやタンス・洗面台・クローゼット・エアコン・空気清浄機が備えてある。本人も使い慣れたタンスやテレビ・寝具等を持ち込んだり、写真を飾るなどで、居心地良く過ごせるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	カレンダー・テレビ・外の風景等から時間・時期を確認しながら過ごす事や、トイレ、自室の案内表示等もあり、確認しながら自立した生活が送って行けるようにしている。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない